

## 地域母子保健研修会 4.

### 「子ども虐待予防（支援が必要な養育者の理解）」日程表

- ≪目的≫ 子ども虐待防止から虐待予防へ。母子保健に期待される予防に取り組むために、虐待の発生機序や、虐待が子どもにもたらす影響などを知り、養育者への共感性のある切れ目のない支援について学びを深めます。
- ≪日程≫ 令和7年9月9日(火)～9月10日(水)
- ≪対象≫ 母子保健分野・児童家庭分野・児童相談所等に勤務する保健師、助産師、看護師  
 保育士、心理士、社会福祉士 等 等
- ≪定員≫ 会場：50名 / Web：60名

R7.3.1 現在

月日	時間	内容	講師	
9/9 (火)	10:00～	オリエンテーション 愛育班の歩みについて	山崎由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長 (保健師)
	10:30～11:50	母子保健の果たす役割／最近の動向と子ども虐待予防の支援者に求められる支援技術とは	荒木田美香子	川崎市立看護大学看護学部 副学長
	12:50～14:10	子ども虐待の社会的対応への医療の取り組み	栗原八千代	聖マリアンナ医科大学小児科 助教
	14:25～15:35	特定妊婦への支援の実際 ～プレコンセプションケアを視野に入れて～	藤尾静枝	支援者のための研究室 悠 室長
	15:45～16:30	模擬事例検討会「問題解決しない事例検討会」		
9/10 (水)	9:15～10:35	子どもの心の発達から考える虐待予防支援	田中哲	子どもと家族のメンタルクリニック やまねこ院長
	10:50～12:10	養育者の理解 関係性のとりにくい対象者の支援	山口貴史	愛育クリニック医療福祉室 臨床心理士/公認心理師
	13:10～14:30	虐待の世代間連鎖を予防する保健師活動	鷺山拓男	とよたまこころの診療所 精神科 診療所長

地域母子保健研修会 4「子ども虐待予防（支援が必要な養育者の理解）」  
開催要領 （ハイブリッド形式）

1. 目的

子ども虐待防止から虐待予防へ。母子保健に期待される予防に取り組むために、虐待の発生機序や、虐待が子どもにもたらす影響などを知り、養育者への共感性のある切れ目のない支援について学びを深めます。

2. 期間

令和7年9月9日(火)～9月10日(水)

3. 会場

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 4階研修室  
〒106-8580 東京都港区南麻布5-6-8（東京メトロ日比谷線広尾駅 徒歩約8分）

4. 対象者・定員

母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健師・助産師・看護師  
保育士・心理士・社会福祉士等（会場50名／Web60名）

5. 内容

日程表をご参照ください。

6. 申し込み

本会ホームページ上の申込フォームより、令和7年7月7日(月)～7月25日(金)の期間内にお申し込みください。Web受講については、ビデオツール「Zoom ウェビナー」を使用してのライブ配信です。同一ご所属先から複数名ご参加を希望される場合も、お一人ずつお申し込みください。

7. 受講料

28,600円（税込）（資料代込み）※WEB受講生のみ資料郵送料+430円

8. 受講決定

申込締切日以降10日を目途にメールにて通知いたします。

9. 問合せ先

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 研修部  
電話：03-3473-8335 Email：kenshu@aiiku.or.jp